

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成28年7月21日 (2016.7.21)

【公開番号】特開2015-73922(P2015-73922A)

【公開日】平成27年4月20日 (2015.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2015-026

【出願番号】特願2013-210080(P2013-210080)

【国際特許分類】

B 0 1 D 71/02 (2006.01)

B 0 1 J 23/78 (2006.01)

B 0 1 J 23/34 (2006.01)

C 0 1 B 3/38 (2006.01)

C 0 1 B 13/02 (2006.01)

B 0 1 D 53/22 (2006.01)

B 0 1 D 69/12 (2006.01)

H 0 1 M 8/0612 (2016.01)

【 F I 】

B 0 1 D 71/02 5 0 0

B 0 1 J 23/78 M

B 0 1 J 23/34 M

C 0 1 B 3/38

C 0 1 B 13/02 Z

B 0 1 D 53/22

B 0 1 D 69/12

H 0 1 M 8/06 G

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月31日 (2016.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 4 】

図 10 に示すように、安定化ジルコニアとして Y S Z と S c S Z のいずれを用いた場合にも、電子伝導体として $\text{La}_{1-x}\text{Sr}_x\text{CrO}_{3-z}$ を用いるならば、高抵抗相は生成されなかった。これに対して、電子伝導体として $\text{La}_{0.8}\text{Sr}_{0.2}\text{CoO}_{3-z}$ を用いたサンプル S 15 では、高抵抗相として SrZrO_3 および $\text{La}_2\text{Zr}_2\text{O}_7$ が生成され、電子伝導体として $\text{La}_{0.8}\text{Sr}_{0.2}\text{MnO}_{3-z}$ を用いたサンプル S 16 では、高抵抗相として SrZrO_3 が生成された。